

| 2024年度 第2回保土ヶ谷区障害者自立支援協議会(防災部会)会議録 |  |
|------------------------------------|--|
| 日時                                 | 2024年6月13日(水) 15:30-17:30  |
| 開催場所                               | 地域活動ホームゆめ 食堂   |
| 出席者                                | (ときわ虹の会)加藤氏 (区社協)本橋氏 (いわまワークス)戸村氏 (夢21)遠藤氏 (区役所)市川氏・岩垂氏<br>(希望の家)島田氏・早坂氏 (ゆめあん)菅原氏・榎本氏 (地活ゆめ)吉田氏 (わおん)田中氏 (たちばな会)中戸川氏 (エターナル新桜ヶ丘・上星川)石川氏 (たちほどがや)瀬之口氏 (基幹相談)吉田氏・朝倉   |
| 欠席者                                | (コベルプラス天王町教室)八木沢氏 (保土ヶ谷区視覚障害者福祉協会)関塚氏 (ワイアー)犬飼氏<br>(左近山特別支援学校)橋本氏 (ハートの会)菅沼氏 (トラック)カ石氏 (はる)坂本氏 (療育スタジオピコ)平山氏 (タキオングリント)佐々木氏  |
| 開催形態                               | 公開(傍聴人: 名)・ <b>非公開</b>   |
| 議 事                                | <p>15:30～ 新規参加者への防災部会説明 (希望の家・島田氏より)</p> <p>① 被災地障害者センター横浜ほどがや開設にむけた話し合いの経過</p> <p>② 被災地障害者センターとは ～くまもと・ふくしま(南相馬市)・みやぎの実践例から</p> <p>③ 被災地障害者センター横浜ほどがや運営規約の説明</p> <p>④ 活動上の課題について</p> <p>挙げた意見(抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どことも繋がっていない障害者の居場所を事前に知っておくことの必要性を感じた。</li> <li>・センター設立は保土ヶ谷区独自の取組なので、他区ともノウハウを共有しながら広めていけるとよい。</li> </ul> <p>16:00～ 防災部会開始</p> <p>① 前回の事務局報告 (区社協・本橋氏より)</p> <p>災害ボランティアセンターの役割、被災時の動きについて情報共有。<br/>実際に昨年、立ち上げのシミュレーション訓練も実施している。実際に訓練をしてみても見えてくる課題などもあった。(ボランティア受け入れ時の動線など)</p> <p>② 開設訓練に向けての準備や課題の整理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災部会のメンバー自身も被災者になっている可能性が高く、どのようにメンバーを招集集するか、連絡を取り合うかという問題がある。</li> <li>⇒区役所は震度5強以上の地震があれば職員は自動参集。</li> <li>⇒たちばな会では40名以上の会員が在籍しているが、それぞれの安否確認は非常に困難。いざという時のために、自立協の他部会を通して当事者団体の周知も行いたい。</li> <li>⇒想定される事態(時間帯、シチュエーションなど)をいくつか考えておき、事前にマニュアルを作って共有しておくのはどうか。</li> <li>⇒例えば震度4くらいの地震が発生したとき、大雨のときなど、実際にメンバー内で連絡を取って集合してみるのはいかがでしょうか。</li> <li>・支援者が災害時を想定した準備をしても、そのことを当事者の方が知らない、周知されていない状況もある。</li> <li>・名簿開示に拒否的な当事者の方もいる。また災害時要援護者名簿の取り扱いも各自治体や防災拠点の運営委員会に任されている状況あり、外部への開示は難しい。</li> </ul> |

・在宅医療相談室でも、防災にまつわる研修などを行っている。障害とは異なる分野の団体なので、連携や情報共有することも有効ではないか。

③ センターの始動訓練とシミュレーション訓練に向けて

・各事業所での災害時の対応について

実際にどのように動くかは詰め切れていない、事業所として基盤がまだ出来ていない、通所中の被災となると利用者を自宅に返すかどうかの判断も難しい等の意見あり。

⇒それぞれの事業所で被災時に備えたマニュアル作りは進めておきたい。

・訓練について（次第から抜粋）

訓練内容

(1)代表、事務局のメンバーで連絡をとりあいセンター始動の判断をする。

(2)始動の後、部会のメンバーと連絡をとりあい参集出来る方で業務の役割分担をする。

(3)センターが始動したことを障害のある被災者、外部の支援者への周知を行い  
安否確認と SOS チラシの配布(事前配布を想定か?)をする。

(4)支援要請と支援者のマッチング

◎役割分担

・センター本部担当(代表、事務局)

・外部からの支援者

・支援要請者

・安否確認

・SOS チラシ配布

◎用意するもの

・当日のマニュアル

・SOS チラシ

・当事者団体や当事者の名簿

・調査票

・区内の地図

・パソコン

・ネット環境

・自立支援協議会 HP センター開設のお知らせ

・ビブス

★次回 9月の部会で実際に訓練実施。詳細は7月の事務局会議で検討。

次回の予定

事務局:7月10日(水) 16:00~17:30 部会:9月11日(水) 16:00~17:30

場所:地域活動ホームゆめ 2階ボランティアルーム